

・有志ボランティアによる無料食品配布の実施報告

第3回目となった今回は、42組50名以上が来会（こども含む。前回から4組増えました）。

今回も、教会員・地域・社協から十分な寄付をいただきお届けすることができました。特に、近隣の教会員宅（1軒）にも募集の箱を設置していただき、10件ほどの協力があり感謝でした。

地域に名前が浸透しつつあり、事前の問い合わせも様々と増えています。時代の必要があることを覚えます。先日は、社協のニュースレターにも働きを紹介していただきました。今後も必要としている方々に届けるようにと願います。

お祈りとご協力をありがとうございます。次回は6月に予定しています。

・こひつじ会は、先週（3日）久しぶりにこひつじ礼拝を行いました。年度の切り替わりの時、二人の子どもが元気に出席しました。

・病床の方々のためにお祈りください。

・ウクライナ支援献金に多くの方がご協力くださり感謝です。

【世界宣教献金の袋について】

一部「献金票」の未封入の件

先に配布した世界宣教献金について、一部の封筒に「献金額を記入いただく用紙」が入っていませんでした。入っていなかった方は教会にご連絡ください。

見よ、あなたの王があなたのところに来る。ろばに乗って。荷ろばの子である、子ろばに乗って。

イエス様は十字架に架かる週の初めの日（日曜日）にエルサレムに入りました。ですから、それは十字架へと続く苦難の道でした。神の御子が罪人を救うためにご自分を低くし、それを象徴してろばの子に乗って進みました。

この時、群衆はしゅろの葉を振りながら熱狂的にイエス様を迎えます。まるで戦いに勝利を取って凱旋する王を迎えるように、十字架の苦難とは不釣り合いな光景です。

群衆の賛美の声（9節）は、詩篇のことばでした（詩篇118篇26節）。イエス様は、この言葉が本当の意味で人々から発せられるのは、世の終わりの時、再臨の時だと告げました（23章39節）。エルサレム入城にお

ける群衆の歓喜は、実は「神の時」にかなっていないかったということです。

この時、イエス様が人々に求めていたのは「悔い改め」です。12節以降に記される「宮きよめ」の出来事は、そのことを物語ります。イエス様は人々を愛すればこそ問います。掛けるのです。自らの行いを省みて神に立ち帰るなさい、と。それなしに祈りだ、みことばだと言っても、そこに神の業は現れないのです。

イエス様を迎えた群衆が「神の時」を見誤ったのはなぜでしょうか？それは、神の御心に生きるよりも、実は自分の計画や願いを神に押しつけたからです。表面的には主を高くかに賛美し、イエス様に敵対する祭司

長たちとは対照的です。しかし、群衆は自分の時、自分の計画を明け渡していませんでした。それ故に、自分の思う通りにならないと怒りをぶつけるのです。それが十字架で罪を背負ってくださいました。

私たちは、今がどういう時かを弁え、見誤らないように気をつけなければなりません。自らを省みる時、悔い改める時があるのです。それは忍耐を必要とします。

十字架に架かる前夜、ナルドの香油をイエス様にささげた女性は神の時を弁えました。彼女はイエス様の埋葬の準備として香油をささげたのです（26章6、13節）。静かに主に仕える姿はイエス様を喜ばせました。神の時を弁えた行動は神の喜びとなります。それは時代を超えて人々の心に良き香りを届ける証しとなるのです。受難週は十字架の前に自らを省みる時です。（泰）

4月10日	パームサンデー
第1礼拝 9時	穂谷牧師 荻野し兄
第2礼拝 11時	荻野牧師 美名子姉
前奏	
招詞	詩篇32篇8節
会衆賛美	聖歌399(1, 2節)
会衆賛美	御手の中で(1節)
主の祈り	
交読	イザヤ53章1~12節
礼拝祈祷	
使徒信条	
聖書朗読	マタイの福音書
説教	エルサレム入城 21章1~11節 荻野泰弘牧師
会衆賛美	聖歌111(1, 3節)
献金	
頌栄	聖歌376
祝祷	
報告	
感謝祈祷	奏樂

【招詞(主の招きのことば)】
詩篇32篇8節
「私は あなたがたが行く道で
あなたを教え あなたを論(まじ)そう。
あなたに目を留め 助言を与えよ
う」アーメン

【本日の予定】
■礼拝映像ネット配信
9時から

■礼拝後
・会堂清掃・礼拝堂イス拭き
・週報発送準備

■小学科ホザナ礼拝 10時30分
(オンライン併用)
お話 穂谷牧師

■午後の予定
役員会 13時30分~ 3階
新年度最初の役員会は、2021年度の決算です。また、洗礼志願者と入会希望者の面談と祈りの時を持ちます。お祈りください。

【本日の奉仕者】
■第1礼拝
礼拝祈祷 林修養生
聖書朗読 司会者
献金1階 司会者
献金祈禱 司会者
報告 司会者
受付 司会者
配信 林修養生

■第2礼拝
礼拝祈祷 司会者
聖書朗読 司会者
献金1階 司会者
献金祈禱 司会者
報告 司会者
会場 林良男
受付 金川和子

【次週の礼拝説教】 荻野牧師
マタイの福音書 28章

【CSスタッフ紹介】

・教会も昔に比べると少子化が進んでいます。しかしそれでも、蒲田シオンには若者や子どもたちが出入りしています。今すぐ「実が結ばれるのではないかもしれせん。しかし、福音の種は「いつか必ず」実を結ぶと信じます。お祈りください。



【受難週、イースター】
今週は受難週。
そして来週はイースターです！



イエス様の地上生涯を伝える4つの福音書(マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ)は、特に、イエス様の十字架と復活の一週間について多く記述しています。
イエス様は十字架に架かる週の最初の日(日曜日)にエルサレムに入りました。迎えた群衆がなつめ椰子の枝を振って迎えたことから、教会暦では「しゅろの日曜日」「パームサンデー」と呼びます。また、この一週間は「受難週」と呼び、イエス様の十字架に向かう一週間を記念します。
イエス様が十字架にかかったのは金曜日です。「受難日」「グッド・フライデー」と呼んで十字架を思い巡らす日です。蒲田シオンでは前日の木曜日が祈祷会日なので、受難週祈祷会としてイエス様の十字架を覚えます。
そして、次の日曜日がイエス様の復活を記念するイースター。旧約の時代、イスラエル人は土曜日が安息日で礼拝の日でした。しかし、初代教会はイエス様の復活を記念して日曜日の朝に礼拝をささげました。

■受難週祈禱会 4月14日(木)
午前10時30分から 礼拝堂
(夜は行いません)

*午後には礼拝堂の座布団カバーの交換と会堂清掃を行います。イースター前に会堂を整えます。

■イースター礼拝 4月17日(日)
第1礼拝 9時から
第2礼拝 11時から(洗礼式)
*一人の姉妹が洗礼の準備をしています。お祈りください。

【新型コロナウイルス関連】

■礼拝式について

*礼拝堂での出席を希望される方は、事前の申し込みをお願いします。

・礼拝堂で出席の場合はマスク着用、手指消毒のご協力をお願いします。

・体調が優れない方は出席を控えてください。

